

対応状況報告書

大 学 名 : 秋田大学

評価実施年度 : 令和2年度

対象となる基準	基準5-3
改善を要する点	○医学系研究科修士課程医科学専攻において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。
対応状況	令和3年度から医学系研究科と理工学研究科の間で、研究科等連係課程実施基本組織である先進ヘルスケア工学院の運用が始まり、医科学専攻の定員5名の内の3名が同工学院で活用されることとなった。その結果、令和3年度からの医科学専攻の入学定員は2名となり、同年2名が入学したため入学定員充足率は100%であったが、平成29年度から令和3年度までの5年間における入学定員充足率の平均は32%であり、現時点で改善された状況にあると判断できない。

対象となる基準	基準6-5
改善を要する点	○休講情報等、授業を受けるにあたって必要な情報を学生に周知する方法が統一されていない。
対応状況	<p>上記の指摘事項に対し、新たに「休講等授業連絡方法に関する取扱いについて」を制定し、全教員に周知徹底を行った。また、令和3年度前期授業科目の担当教員全員に、学生への連絡方法に関する調査を実施し、同制定どおり学生への連絡が適切に行われていることを確認するとともに、その調査結果を「科目別休講等連絡方法一覧表」としてまとめ、ポータルサイトである秋田大学総合学務支援システム(a・net)へ掲載し、学生・教職員の双方で科目別の連絡方法が確認できるよう改善を行った。</p> <p>さらに、指摘事項に対する改善状況を、内部質保証委員会において確認した。</p> <p>【根拠資料・データ】</p> <p>6-5-1-04_(00)休講等授業連絡方法に関する取扱いについて（非公表）</p> <p>6-5-1-05_(00)科目別休講等連絡方法一覧表（非公表）</p> <p>6-5-1-06_(00)a・netの一覧表掲載画面（非公表）</p> <p>6-5-1-07_(00)内部質保証委員会議事要旨（非公表）</p>

対応状況報告書

大 学 名： 秋田大学

評価実施年度： 令和2年度

報 告 年 度： 令和5年度

対象となる基準	基準5-3
改善を要する点	○医学系研究科修士課程医科学専攻において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。
対応状況	<p>入学定員充足率の改善に向けた取組としては、「医学系研究科医科学専攻（修士課程）大学院説明会」へ参加しやすいよう令和3年度からリモートで開催しているほか、令和4年度には「医科学専攻カリキュラム検討WG」を設置し、本課程のカリキュラムの見直しを図り、その内容を踏まえた大学院説明会を行う等、入学者を確保する取組みを行った。その結果、入学定員充足率の過去5年（令和元年度～令和5年度）平均が0.7倍となり改善されている。</p> <p>なお、令和3年度より医学系研究科と理工学研究科の間で、研究科等連係課程実施基本組織である先進ヘルスケア工学院の運用を開始し、医科学専攻の定員5名のうちの3名を同工学院で活用しており、医科学専攻の入学定員は2名としている。</p> <p>【根拠資料・データ】</p> <p>5-3-1-06_認証評価共通基礎データ（医学系研究科（修士課程））</p> <p>5-3-1-07_医学専攻・医学科教授会資料（「医科学専攻カリキュラム検討WG」検討内容）（非公表）</p> <p>5-3-1-08_秋田大学大学院医学系研究科医科学専攻（修士課程）大学院説明会ポスター</p> <p>5-3-1-09_内部質保証委員会議事要旨（非公表）</p>

(注)

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的な内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。